

オリーブの会通信

2024年6月

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



早くも日によっては夏を思わせるような昨今の天候ですが健康管理に十分お気をつけください。

既にご案内の通り、本年度は5月に「ひきこもりクロストーク」の開催を西日本では初めて香川県で開催したことや、KHJ本部の総会開催日との日程調整等の必要から当会の総会は6月30日に開催となっています。

是非、当日には総会にご出席いただいて1年間の振り返りと合わせ今後の会の運営等に関するご意見をいただきたいと存じます。

ご出席予定の通知を出された方はもとより、ご欠席予定通知をご提出の方であっても出席が可能となった方はご遠慮なく是非ご出席下さいますようお願いいたします。

総会の日時・会場は、6月30日、14時開始、「かがわ総合リハビリテーションセンター」で実際に集まって開催します。（その前の約30分間は情報連絡に充てます。）

●月例会の報告

4月28日

講師として社会保険労務士 横山法子氏（横山法子社会保険労務士事務所。Open Dialogue ねんきんカフェ店主）をお招きし「障害年金 情報交換会」と題するご講演をいただきました。

○ 以下は、終了後の参加者のご感想の一部です。

- ・講師の親しみのある話しぶりにとても好感を持ちました。相談がし易そうに感じもしたので、「ねんきんカフェ」をお訪ねしてみたいと思います。
- ・障害年金がでるようになって、本人が自信を持ったというお話が印象的でした。相当具体的な質問（それに対する回答を含む）をお聴きでき良かった。
- ・「親なき後……」のことを考え悶々としていたが、知りたかったことが分かり

とても有意義な機会となった。

- ・これまで知らない世界だったので良かった。

5月26日

「第22回ひきこもりクロストーク in 高松」の開催に集中する意味もあり、これを月例会とも位置付けて実施しました。

このプログラムは、これまでの開催地は東京が大半を占め特に西は愛知県まででありましたが、22回目にして四国・香川県で開催したことは意義深いことでありました。

当日のプログラムの詳細を、分かりやすくお伝えすることは困難が伴いますが、ご出席者からいただいたご感想によると大変意義深い行事であったと改めて思われます。

お聴きしますと、ひきこもりクロストークをいつか高松で開催したいという幻を抱かれてから2年程の期間を経て開催が実現し、また、高松での開催が決定してから本番実施までには十数回のリハーサルを重ねたそうでその間のご苦労に対して頭の下がる思いがします。

参加者からお寄せいただいたご感想を以下に記載しますので、当日の真に迫る登壇者5名の熱演ぶりに思いを馳せていただければ幸いです。

— ご出席者から寄せられたご感想の紹介 —

○ リュウさんがひきこもった原因はやはり親？

父親より母親の過干渉の方がきつい。勉強もする
ふり、受験もしているふり、そのふりをし続ける
生活。これはご本人にとってはキツイ。よく耐えられたと思います。

- ・とし君の場合も原因は母親？産業カウンセラー仲間の支えがよかった。ありがたかった。普太郎さん 大学の時にアルバイトでいやな思いをしたから、今、働けない。
- ・プライドがあるので・・・
- ・いろいろな立場を考えさせられて大変勉強になりました。何が原因でひきこもりになったか、それぞれ理解できますがその解決策が見つけられたらと思います。

○ 一言、ひとことの言葉の重み、とらえ方、その時の体調・気分により感じ方も違ってくる。

—こんな状況での言い方、話し方は何通りもあると思うので—

- ・心の通い合う言葉がなかなか見つからない。自分ならどう話すかを考えても難しい課題だと思います。
- なかしまさんの、家族会に参加する理由を聴かされた時、ひきこもっても自分の価値観をもって生きています。という言葉聞いた時に涙がこぼれました。
 - ・当事者の「上辺だけ飾らないために、ひきこもりになった。」という言葉は衝撃的でした。非モテの問題は深刻だと思います。

○ 両親が互いに子どもについての話を十分すること、家庭内でも問題を第三者に聴



いてもらって前に進めるような機会を持つことが大切だと思いました。

- 最初の当事者経験者のお話、「自分がない」、「文章が読めない」等、私の学生時代と酷似していると思いました。ひきこもることもできなかつた。自分の席にこもっていたというところもそっくり同じ。父親が研究職というのも同じだ。
- 家の実状はそれぞれ違う。ひきこもりの年齢と原因によっても異なる。親の価値観によってそれを子供に押し付ける。
- 母親役、息子役の立場でご出演された方々ありがとうございました。今回は家庭の問題として扱っていただきましたが、学校や社会生活での問題があるような気がします。
- 親子トークでひきこもりだけではなく包括的な問題が提起されとても共感できた。
働くという言葉がポンポン飛び交う親子トーク、当事者が働くということに対して自分の思い、考えが言える親子関係。私も何も気にせず常に会話の中で働き方について話せたことは間違いなかったと思いました。
- ひきこもり当事者、保護者の立場から事情をそれぞれ聴くことができ理解が深まった。
ひきこもりの問題を当事者だけの問題、自己責任論で局所的に捉えるのではなく、家族関係などを含めて包括的に捉えていかなければ本質が掴めないと感じた。
希望として、ひきこもり支援に関わる人の立場（スクールソーシャルワーカー、福祉の方など）から、葛藤や支援方策の事例なども聴いてみたい。
- ひとつこと、一言の言葉の重み、とらえ方、その時の体調や気分により感じ方も違ってくる。
 - ・ 難しいことではあるが、心の通い合うことばを見つけて互いが話し合うことができればと思います。
- 子供の親に対する本音、気持ちがよく分かりました。
 - ・ 親の思いに共感することがあり、自分だけではないことに安心しました。
 - ・ 自分の子供に少しでも寄り添えるように努力しようと思いました。
- 親子間のトークで、当事者が答える場面の絶妙な間がとてもリアルで、立ち会ったことがない私にも、すぐに答えられない当事者のその時の心情がとてもよく解った。

第 260 回月例会ご案内



日 時	2024 年 6 月 30 (日) 13 : 30 ~ 16 : 30 (受付 : 13:00 ~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2 階 第 1・第 2 研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel : 087-867-7686

内 容	<p>☆第一部 13:30～ 会からの諸報告はじめ 14:00～ 2024年度 通常総会 * 総会の予定の詳細はご送付した案内文の通りです。</p> <p>— 総会終了後直ちに以下の予定に入ります。 —</p> <p>講 演 演題 「 農福連携の現地実状視察に見る今後の可能性 」 ・高知県安芸市はじめ他県の先進成功事例を基に当県内の今後の推進にとっての方向性や課題等 講 師 辻 正彦 氏 途中適宜休憩をはさみ、終了後時間に余裕があれば、「グループ話し合い」を行います。 (例会終了解散予定時刻:16:30)</p>
-----	--

- ・農福連携が成功していると目される事例に観られる特徴の一つは、一方（農）が社会福祉に寄与するために慈善目標を掲げるというのではなく、また、他の一方（福祉）側が農業経営者のために自己の経済的欲求を度外視して役務を提供するのでもなく双方が互いに自己の欲求（必要）を明らかにし関係性を持つ、その結果として農業と福祉の互惠関係（連携）が成立するという点があります。

第 261 回月例会ご案内



日 時	2024 年 7 月 28 (日) 13:30～16:30 (受付: 13:00～)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686
内 容	☆第一部 13:30～ 会からの諸報告 13:40～ 15:30 現在、プログラムを選考準備中 ☆第二部（第一部終了後 10 分程度休憩 の後） 15:40～ 16:10 グループ別話し合い (ここでの話は誰もが他の者に漏らさないこととします。)

KHJ 香川県オリーブの会 女子会&家族会 in 三豊

開催（月例）日時：6月14（金）、7月12日（金）時間 13：30 ～ 15：30

場所：三豊市たかせ人権福祉センター（高瀬町） 場所の案内のみ（0875）72-2501

〒767-0011 三豊市高瀬町下勝間 430-1

（三豊市役所庁舎とは国道11号線7を挟んで反対方向にあります。）



報 告

【諸会等の予定】

（相談窓口・当事者のための居場所）

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 （来所相談も可）※まずは☎ 087-802-2567をお待ちしています —第1・3土曜日に行います—	6	15	土	10：00～13：00	平野ほか
	7	20	土	10：00～13：00	平野ほか
ひきこもり当事者のための居場所 ※連絡先：☎ 087-802-2567 —第1・3土曜日に行います—	6	15	土	13：30～16：30	サポーター登録者・平野
	7	20	土	13：30～16：30	サポーター登録者・平野

●初めて参加される方は、（☎ 087-802-2568）オリーブの会までお電話ください。

（注意）2024年4月以降、ひきこもり相談窓口、ひきこもり当事者のための居場所

ともに第1・第3土曜日、時間帯が一部変更となりましたのでご注意ください。

（従来の「傾聴サロン」の名称は「ひきこもり当事者のための居場所」に変更となりました。）

（運営委員会等）

*基準開催日：第3土曜日

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第3回運営委員会	6	15	土	13：30～16：30	総会：6/30
第4回運営委員会	7	20	土	13：30～16：30	
第5回運営委員会	8	17	土	13：30～16：30	
第6回運営委員会	9	21	土	13：30～16：30	
第7回運営委員会	10	19	土	13：30～16：30	

*ポパイの会（居場所活動）予定は、同封の「オリーブの会イベント通信」をご覧ください。

- **お知らせ** 昨年度まで「ポパイ通信」を発行していましたが、今年度から「オリーブの会イベント通信」に改め発行します。つきましては「こんなことがしたい。行きたい。」などご提案よろしく願います。同封の「オリーブの会イベント通信」に是非お目通しください。

ココカラ庵つわぶき 今後の予定

月日	曜日	プログラム	開始時刻は 14:00 共通 開催場所
6/8	土	ヨガ	リハセン
6/14	金	カウンセリング	たかせ人権福祉センター
7/23	火	カウンセリング	リハセン
8/3	土	ヨガ	リハセン
9/13	金	カウンセリング	たかせ人権福祉センター
10/5	土	ヨガ	リハセン
11/26	火	カウンセリング	仏生山交流センター
12/7	土	ヨガ	リハセン
1/10	火	カウンセリング	たかせ人権福祉センター

- 皆様の年度会費の納入時期が少しずつ早くなり、再度のご請求が必要な方は極少数になりました。会計担当者の負担を減らす意味でも早期支払いのご協力をお願いします。

年会費納入のお願い

年会費の納入についてのお願い ****送金の仕方の説明は切り取りして保存をお願いします。**

◎下記の方法で新年度（2024年度）の会費 5,000 円のお支払いをお願いします。

（できれば「ご寄付」も合せてお願いします。）

- 年会費・寄付金の送金方法 と 振込先口座等

送金方法

- ・ゆうちょ銀行（郵便局）窓口に備付の「電信払込請求書・電信振替請求書」により下記の口座に送金する方法 ① か、他の銀行からの送金方法 ② いずれか

【送金（振込）先の口座番号】

【方法①、②により振込先口座番号が異なります】

- | |
|---|
| ① ゆうちょ銀行で現金またはご自分のゆうちょ銀行口座から振込する場合
記号 16300 番号 18531751
ケイエイチジェイカガワケンオーリーブノカイ : ①、②とも同じ |
| ② 他の金融機関より送金する場合
ゆうちょ銀行 店名六三八（ろくさんはち）
【店番】 6 3 8 【預金種目】 普通預金 【口座番号】 1853175 |

以上